

nedius

扇風機 (39cm キャビネットファン)

品名

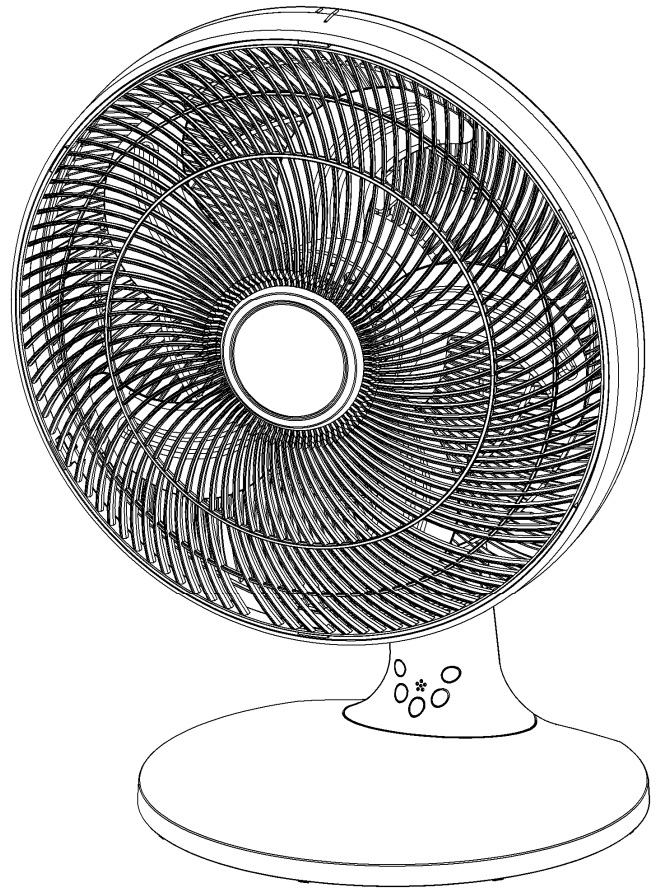
NF-40S1MJ

取扱説明書

(保証書付き)

**本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でも読めるところに、必ず保管してください。**

ご購入いただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に、この説明書を最後までお読みください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みのうえ正しくお使い
ください。お読みになったあとは、お使いになる方が
いつでも見られる所に必ず保管してください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、
本説明書を必ずお読みください。



| も く じ | ページ |
|---|-----|
| 安全上のご注意 | 1～2 |
| 仕様 | 2 |
| 梱包内容と部品の名称 | 3 |
| 組み立て方 | 3～5 |
| 使い方 | 6～8 |
| お手入れと保管 | 9 |
| こんなときは(故障かな?と思ったら)… 長期使用製品安全表示制度に基づく | 9 |
| 本体表示について | 10 |
| 製品保証書 | 11 |

日本国内用 FOR USE IN JAPAN ONLY

★長年ご使用の扇風機の点検を！

長年ご使用の扇風機では、モータ、電源コード、コンデンサーなどの電気部品の経年劣化による発煙・発火の恐れがあります。
ご使用前には必ずご確認いただき、次のような症状がある場合は、**すぐに使用を中止**してください。

愛情点検



このような症状は
ありませんか？



- スイッチを入れてもハネが回らない。
- ハネは回るが、異常に遅いか、回転が不規則。
- 回転するときに異常な音や振動がある。
- モータ部分が異常に熱かったり、焦げくさい臭いがする。
- 本体が変形している。

安全上のご注意



この扇風機は、ハネの回転による風で涼感を得たり、室内の空気を循環させるために使用するものですので、これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外でご使用になった場合の故障・修理・事故・その他の不具合については、責任を負いかねますのでご了承ください。

※ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、『警告』『注意』の2つに分けてお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。



| | |
|--|---|
|  警告 取扱いを誤ると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。 |  注意 取扱いを誤ると、傷害を負う可能性または物的損害のみが発生すると想定される内容です。 |
|--|---|

■お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。（下記は絵記号の一例です。）











| | |
|--|---|
|  ○記号は、してはいけない『禁止』内容です。（左図は分解禁止） |  ●記号は、必ず実行する『強制』内容です。（左図はプラグを抜く） |
|--|---|

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

| | |
|---|--|
|  分解禁止 改造しない。 修理作業員以外の方は、分解・修理を絶対にしない。 * 火災や感電、ケガの原因になります。 * 修理は販売店または弊社「お客様相談室」へご相談ください。 |  プラグを抜く お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 濡れた手で抜き差ししない。 * 不意に作動してケガをしたり、感電の原因になります。 |
|  禁止 ハネ・ガードをつけずに運転しない。 * ケガの原因になります。 |  強制 電源は交流100V専用コンセントを使う。 * 交流100V以外の電源を使用すると、火災や感電の原因になります。 |
|  強制 異常・故障時にはすぐに使用を中止する。 * 発煙、発火、感電やケガの原因になります。 すぐに電源プラグを抜いて、販売店または「お客様相談室」へご相談ください。 ●スイッチを入れてもハネが回らない。 ●ハネの回転が異常に遅い。 ●運転中に異常な音がする。 ●コードを触ると通電したりしなかったりする。 ●焦げくさいにおいがする。 ●その他の異常や故障がある。 |  禁止 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。  禁止 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものをのせたり、束ねない。 * 電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。 |
|  強制 電源プラグは根元まで確実に差込む。 * 差込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。 |  強制 電源プラグのほこりは定期的に清掃する。 * プラグにほこりがたまると、火災や感電の原因になります。 |
|  水濡れ禁止 水につけたり、水をかけたりしない。 * ショートや感電の恐れがあります。 |  強制 包装用ポリ袋は幼児の手の届かないところに保管する。 * 誤ってかぶったとき窒息し死亡する恐れがあります。 |

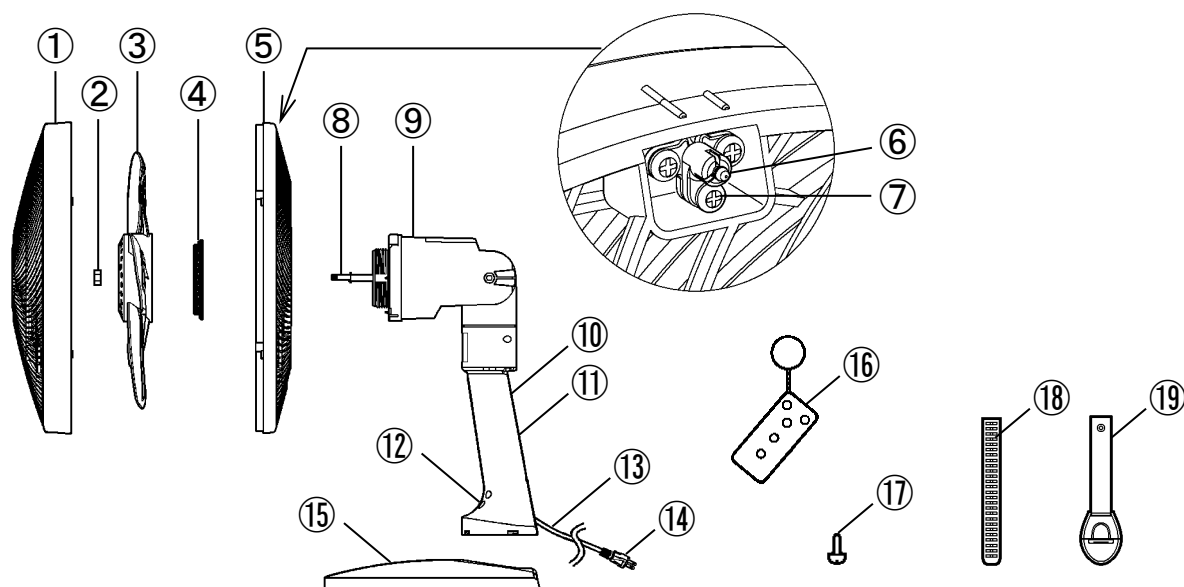
⚠ 注意

| | | | |
|---|---|---|---|
|  禁止 | 次の場所では、使用しない。 ●ガスレンジなど炎の近く ●引火性ガスのあるところ ●雨や水のかかるところ * 炎の立ち消えや、引火による火災、感電の原因になります。 |  禁止 | 次の場所では、使用しない。 ●直射日光の当たるところ ●温度の高い(40℃を超える)ところ ●湿度の高いところ * 故障の原因になります。 |
|  禁止 | 障害物(カーテンなど)の周囲や不安定な場所では使用しない。 * 転倒や転倒によるケガ、故障の原因になります。 |  禁止 | 風を長時間、からだにあてない。 * 健康を害することがあります。 特に乳幼児、お年寄り、ご病気の方にはご注意ください。 |
|  強制 | 本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する。 * ハネやガードが外れて落下し、ケガをする恐れがあります。 |  接触禁止 | ガードの中や可動部へ指などを入れない。 * ケガをする恐れがあります。 特に小さなお子さまにはご注意ください。 |
|  禁止 | 製品を引きずらない。 * 床や畳に傷がつく恐れがあります。 |  禁止 | スプレーをかけない。 (殺虫剤、掃除用、整髪用など) * 樹脂や塗装部分に変質したり、破損の原因になります。 |
|  プラグを抜く | 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。 * ケガややけど、絶縁不良による感電、漏電火災の原因になります。 |  強制 | 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 * 感電やショートして発火することがあります。 |

仕 様

| | | | | | | |
|--------|-------------------------|-------|--------------------|-------|-------------|--------|
| 品 番 | NF-40S1MJ | | 電動首振り角度 | 左右 | 約90° (各45°) | |
| 風量調節方法 | 4段速度調整式 (強・中・弱・微風・切) | | 風向き調節角度 | 上向 | 30° | |
| ハネ径・翼数 | 39 cm. 5枚ハネ | | | 下向 | 30° | |
| 電 源 | 100V | | 電源コード長さ | 5 m | | |
| 周 波 数 | 50 Hz | 60 Hz | 本体寸法 | 幅 | 465 mm | |
| 消費電力 | 微風 | 23 W | | 24 W | 奥行 | 360 mm |
| | 弱 | 29 W | | 32 W | 高さ | 610 mm |
| | 中 | 36 W | | 41 W | 質量 | 4.3 kg |
| | 強 | 50 W | 52 W | 【付属品】 | | |
| 最大回転数 | 970 min ⁻¹ | | ・リモコン | | | |
| 最大風速 | 238 m/min | | ・落下防止ベルト(ネジ止め用)…1個 | | | |
| 最大風量 | 43 m ³ /min | | ・落下防止ベルト(粘着テープ)…1個 | | | |
| 騒 音 値 | 52.4 dB (微風運転時 41.7 dB) | | ・ノブボルト…2個 | | | |
| | | | ・M4ネジ ……1本 | | | |
| | | | ・取扱説明書 | | | |

梱包内容と部品の名称



- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------|-----------|
| ①前ガード | ②スピナー | ③ハネ | ④ガード締付ナット |
| ⑤後ガード(持ち手付) | ⑥ガードロックピン | ⑦ロックネジ | ⑧モータシャフト |
| ⑨モータユニット | ⑩モータユニットの支柱 | | ⑪リモコンホルダー |
| ⑫操作パネル・リモコン受信部 | ⑬電源コード | | ⑭電源プラグ |
| ⑮ベース | ⑯リモコン(ボタン電池セット済) | | ⑰M4×10ネジ |
| ⑱転倒・落下防止ベルト(ネジ止め用) | ⑲転倒・落下防止ベルト(粘着テープ) | | |

組み立て方

- ご使用前に次の順序で正しく組み立ててください。
- 包装ケースは、保管するときに必要ですから捨てないでください。

初めてご使用になる前に

- ポリ袋から扇風機と付属品を取出してください。
- 取扱説明書に従って扇風機を組み立ててください。
- リモコンの電池保護シートを抜いてください。

⚠ 注意



組み立て前、または組み立て中に電源プラグをコンセントに差込まない。
*モータシャフトが回り出し、ケガの原因になります。

組み立て手順

(1) ベースに「転倒・落下防止ベルト」を取付けます。

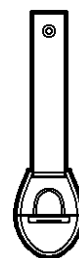
転倒・落下ベルトは2種類あります。
設置する場所や材質により、どちらかのベルトを取付けてください。

- ネジ止めできる場所・材質の場合……ネジ止め用
- ネジ止めできない場所・材質の場合…粘着テープ

転倒・落下防止ベルト



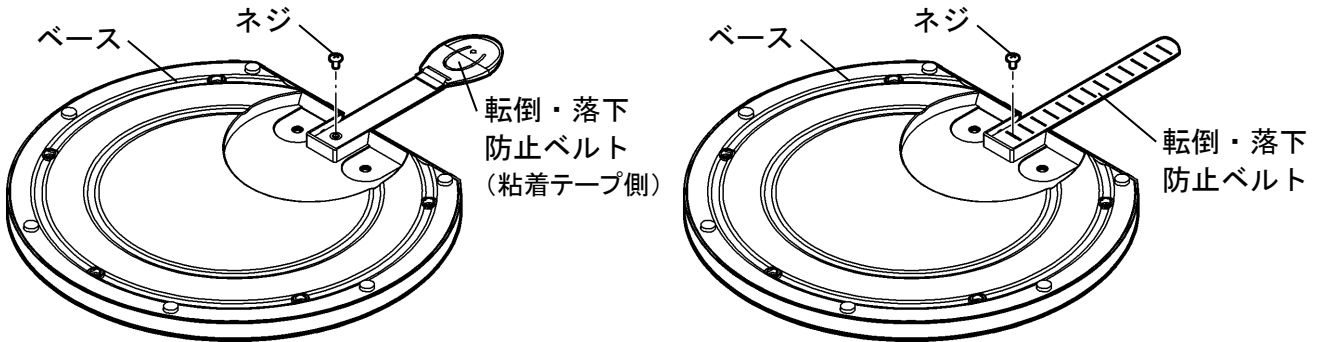
ネジ止め用



粘着テープ

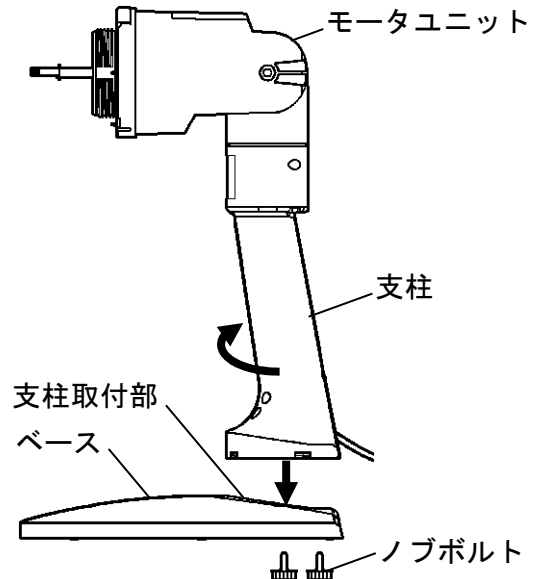
組み立て手順

- ① 平らで安定した場所にベースを裏返して置きます。
- ② ベースに、転倒・落下防止ベルトをネジ止めします。
※粘着テープの転倒・落下防止ベルトは、設置面に粘着テープが貼れるよう表裏にご注意ください。



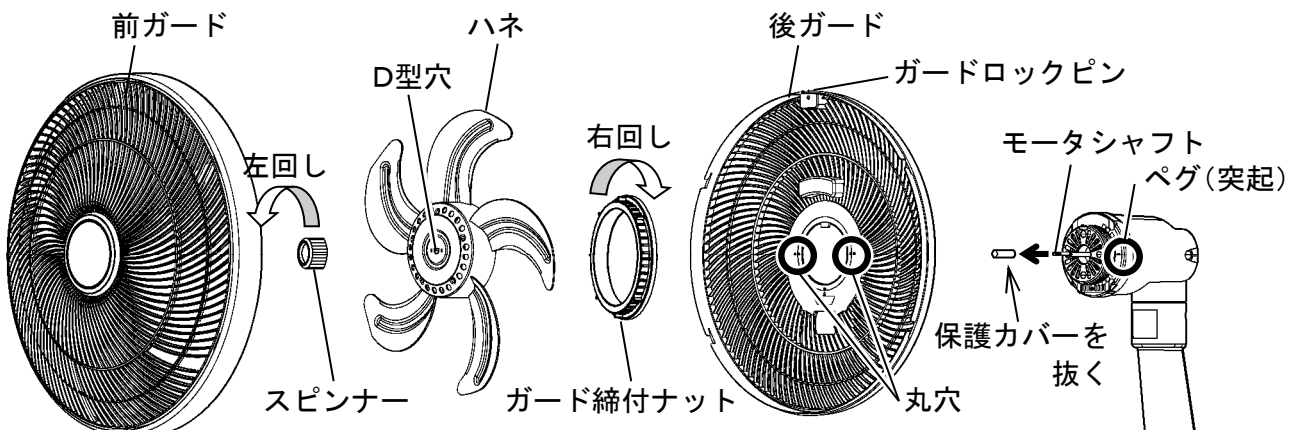
(2) ベースにスタンドを取付けます。

- ① 支柱の底のノブボルト2本を一旦取外します。
- ② ベースの支柱取付部に支柱を差込み、時計回転方向に少しひねります。
- ③ ①で外したノブボルト2本を使用し、ベースの裏側から支柱をネジ止めします。



(3) 後ガードをモータユニットに取付けます。

- ① モータシャフト先端の筒状の保護カバーを抜きます。
- ② モータカバーのペグ（左右2個の突起）を後ガードの丸穴に合わせてはめ込みます。
※後ガードは、ガードロックピンがある方が上です。
- ③ ガード締付ナットをはめて「TIGHTEN」(しめる)の方向(右回り)に回し、後ガードを確実に固定してください。




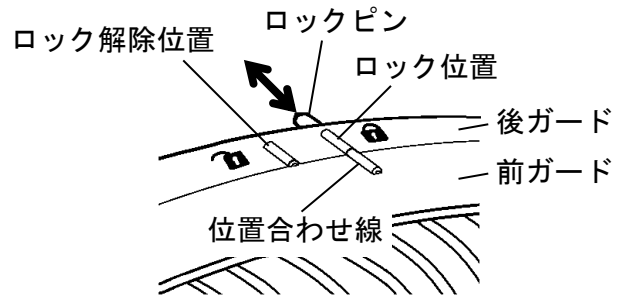
組み立て手順

(4) ハネをモータシャフトに差込みます。


- ① ハネ中央のD型穴をモータシャフトに合わせて奥まで差込んでください。
- ② スピンナーを左に回してハネを確実に締付けてください。
※スピンナーは、左回り(反時計回り)に回すと締まります。
- ③ 手でハネを軽く回して、ハネが回転することを確認してください。
※スピンナーは確実に締付けてください。

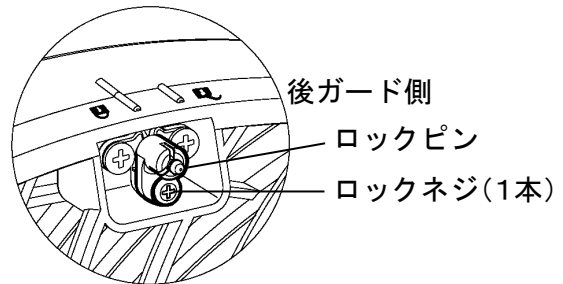
(5) 前ガードを取付けます。

- ① 前ガードの位置合わせ線を上にして、前ガードのフックを後ガードの切欠きに合わせてはめます。
- ② 前ガードを  のマーク(ロック位置)の方向にロック位置の線まで回すと、ロックピンがはまり固定されます。
- ③ 後ガードのロックネジ(1本)を締めます。



《前ガードの外し方》

- ① 後ガードのロックネジ(1本)を緩めます。
- ② 後ガードのロックピンを外側に引きながら、前ガードを  のマーク(ロック解除位置)の方向に回すと外れます。

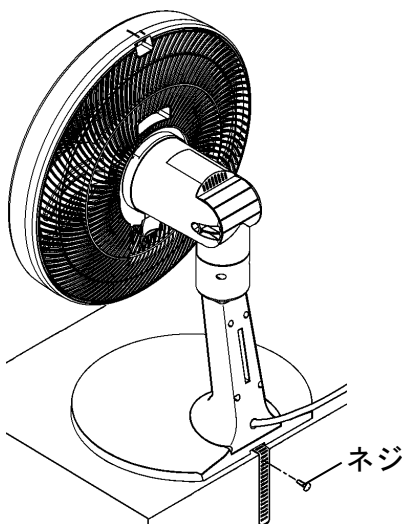


(6) 転倒・落下防止対策をする。

地震の場合などに倒れるおそれがあります。安全のため、必ず転倒・落下防止対策をしてください。
※転倒・落下防止ベルトは、地震などでの転倒・落下によるケガなどの被害を軽減するためのものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

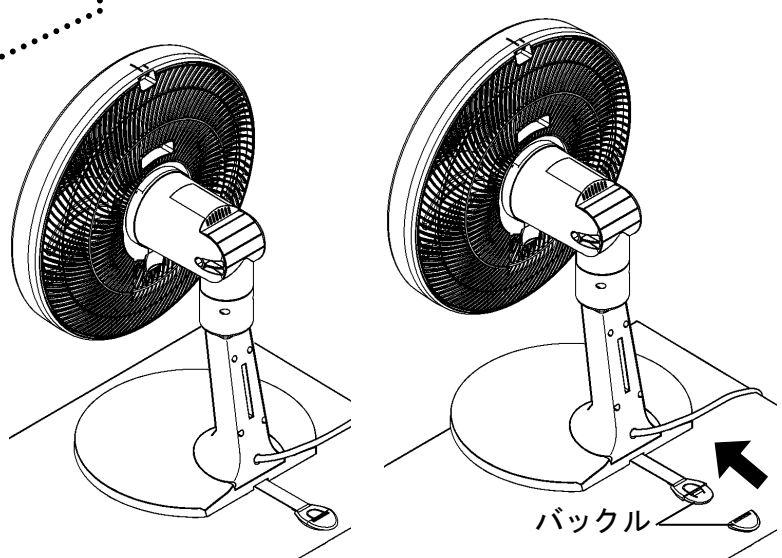
《ネジ止め用》

- ① 付属のネジを使用し、転倒・落下防止ベルトを台や壁などに固定します。



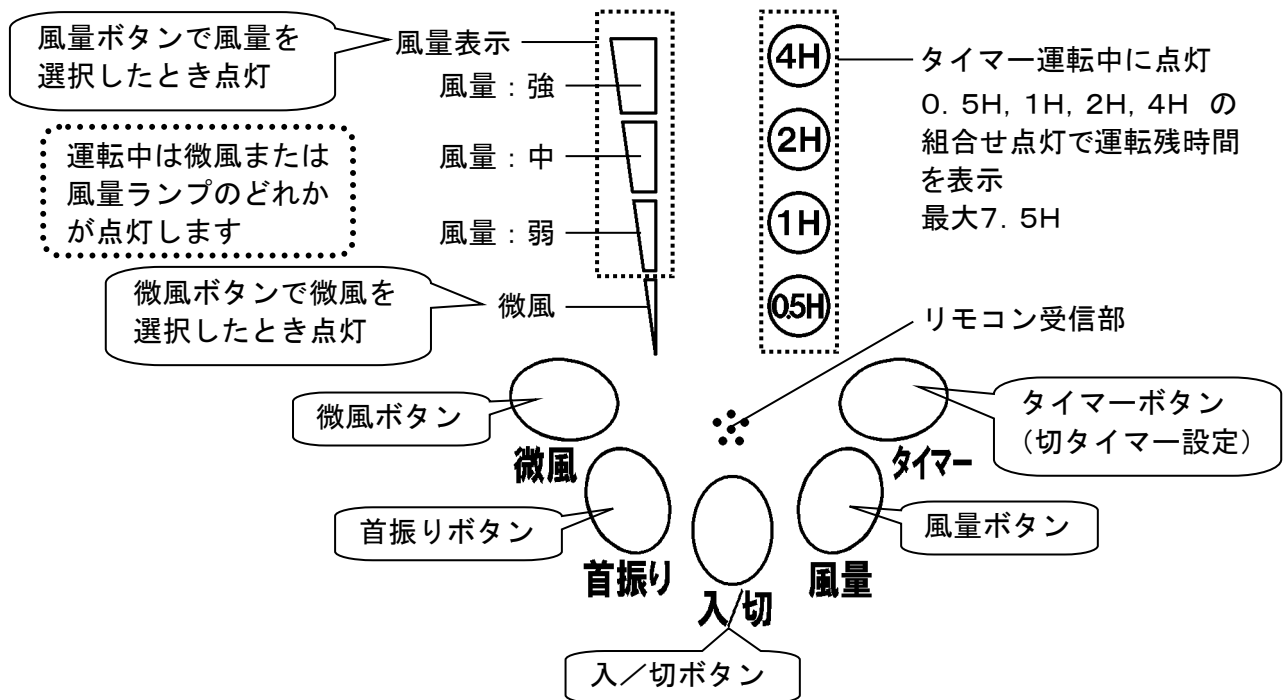
《粘着テープ用》

- ① 転倒・落下防止ベルトの剥離紙をはがして、台や壁などに貼り付けして固定します。
- ② バックルを外すと、粘着テープをはがさなくても扇風機を動かすことができます。



扇風機を運転する前に、扇風機が正確に組み立てられ、前・後ガードが確実に連結されていること、転倒・落下防止対策がされていることを確認してください。

パネルの表示と本体ボタンの名称



使い方

- 電源プラグを交流100Vのコンセントに根元まで確実に差込んでください。
- 電源プラグの抜き差しは運転を停止してから行ってください。

(1) 電源プラグをコンセントに接続すると「ピッ」と鳴ります。

扇風機が安定する床や机の上で使用してください。
風呂場や湿った場所で使用しないでください。
子供の手の届かない場所に置いてください。
ガードの中に指やものを差込まないでください。
扇風機を移動する際は、スイッチを切りプラグを抜いてください。

(2) 入切ボタン

入切ボタンを押すと、風量「弱」で運転を開始します。

(3) 風量ボタン・微風ボタン

風量ボタンまたは微風ボタンを押して風量を調節してください。
風量ボタンを押すごとに、**弱→中→強**を選択できます。
風量は、パネルに点灯表示します。

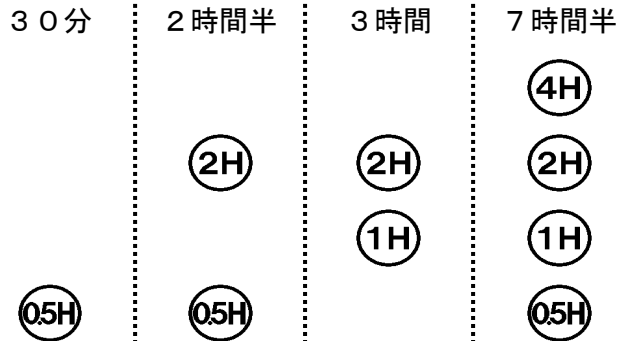
(4) 首振り

首振りボタンを押すと首振り運転が開始し、もう一度押すと首振りを停止します。
首振り角度：約90度

(5) 切タイマーを設定するとき

タイマーボタンを押すごとに、30分単位で、最大7.5時間まで切タイマーを設定できます。切タイマーの残時間が点灯します。

《パネル表示の例》

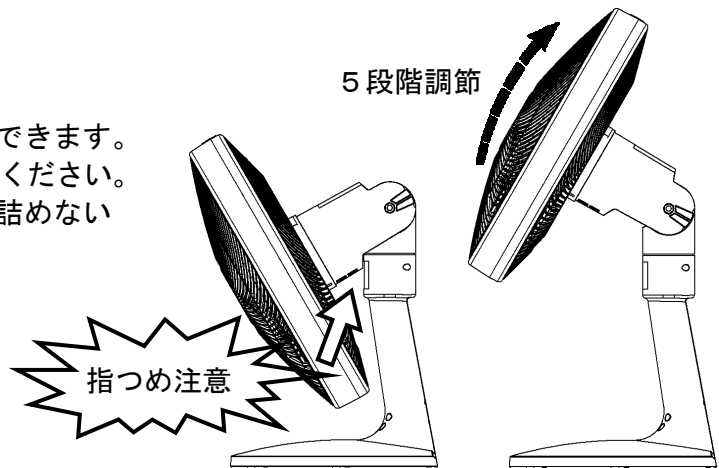


(6) タイマーを解除するとき

パネルのタイマーランプが点灯しなくなるまでタイマーボタンを数回押してください。

(7) 風向き方向を手動で調節する

風向き方向は、水平より上下に5段階調節ができます。調節するときは、モータユニットを持ち支えてください。その際、モータユニットとガードの間に指を詰めないようにご注意ください。



⚠ 注意



指詰め注意。

* 勢いよく風向きを調節すると、モータユニットとガードの間に指を挟む恐れがあります。特に上向きから水平や下向きに風向きを変える際はゆっくり1段階ずつ調節してください。

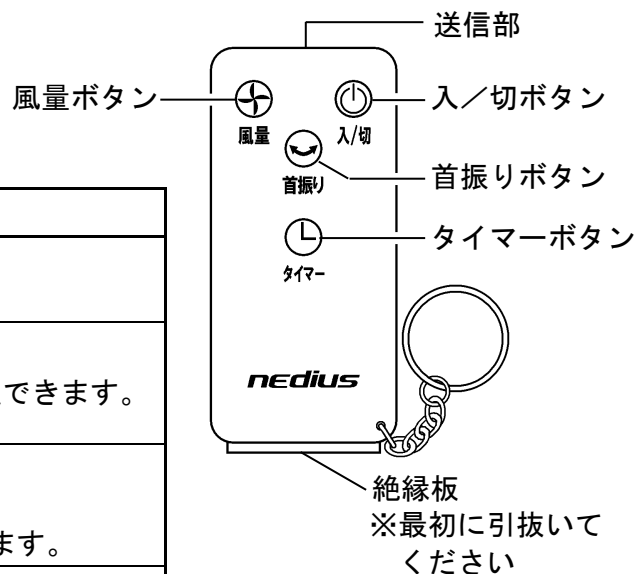
注記

- ① 運転中に、風向き調節をしないでください。
- ② 風向きは水平より上下30度以上には調節出来ません。力まかせに上下させないでください。

リモコンボタンの名称

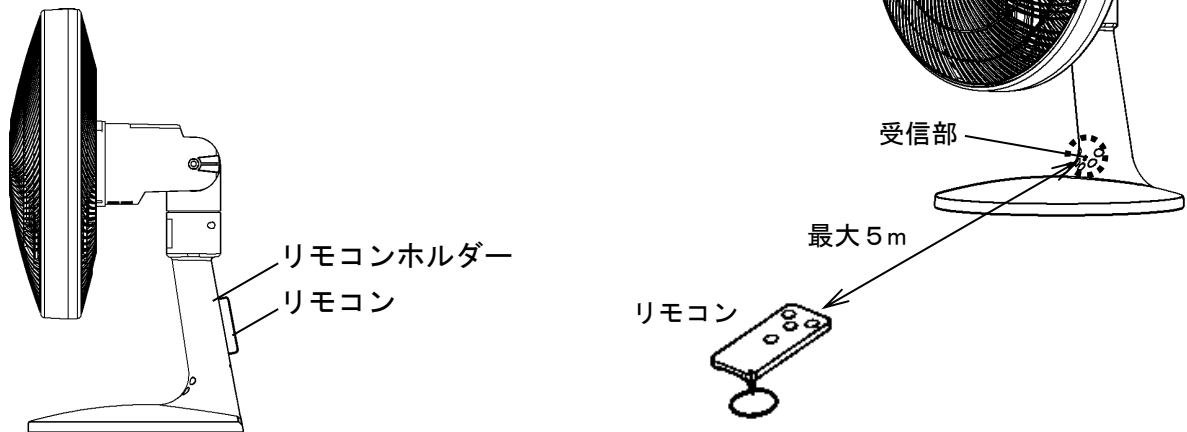
リモコンには微風ボタンはありませんが、風量ボタンで微風運転を選択できます。

| ボタン名とマーク | 機能 |
|----------|--|
| 入/切 | ・ 風量「弱」で運転開始 ・ 運転停止 |
| 風量 | 風量ボタンを押すごとに、 →弱→中→強→微風→ を選択できます。 |
| 首振り | ・ 首振り入/切 首振りボタンを押すごとに、 首振り運転⇔首振り停止します。 |
| タイマー | ・ 切タイマー タイマーボタンを押すごとに、30分単位で、最大7.5時間まで切タイマーを設定できます。 |



(1) リモコンの使い方

- ・初めてリモコンを使用するときは、電池を絶縁しているプラスチックの絶縁板を引抜いてください。
- ・付属の電池は動作確認用のため寿命が短い場合があります。
- ・リモコンの送信部を扇風機本体の受信部に向けて操作してください。
- ・リモコンの送信可能範囲は、受信部正面から最大5mです。
受信部に向けられていない場合、操作可能距離は縮まります。
- ・モータユニットの支柱にリモコンホルダーがあります。
リモコン紛失防止のためご利用ください。



注記

- ①リモコンと本体受信部との間に障害物があると、送受信できない場合があります。
- ②電池が消耗すると、送信可能範囲が狭くなります。
- ③リモコンを湿度の多い所や、直射日光の当たる所に置かないでください。
- ④リモコンを落としたり、投げたり、強い衝撃を与えたり、水などで濡らさないでください。
* リモコンが変形したり、基板の錆び、ホコリの侵入などにより、誤動作やスイッチ接触不良の原因になります。

(2) リモコンの電池交換

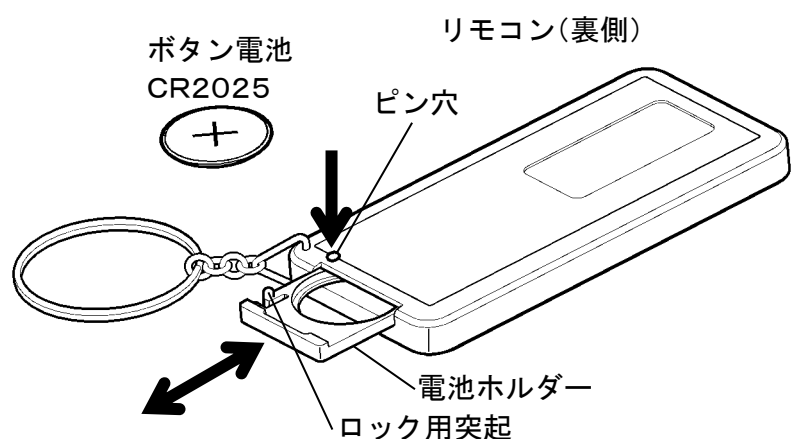
- ・長期間リモコンを使用しないときは、電池を抜いてください。
- ・リモコンの電池は「CR2025」をご使用ください。
- ・電池の接点は汚さないでください。
- ・電池は＋の向きを正しく装着してください。
- ・使用済電池は、リモコンから外し、適切に処理してください。

《電池ホルダーを開けるとき》

リモコン裏側のピン穴を細い棒などで押しながら、電池ホルダーを引き出します。

《電池ホルダーを閉めるとき》

電池ホルダーのロック用突起が、リモコンのピン穴にはまるよう少し押しえながら電池ホルダーを押し込みます。



お手入れと保管

- お手入れの前に、扇風機を停止して、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ハネ・ガード・モータユニットにほこりが大量に付着すると、異常音・振動・モータ過熱などの原因になりますので、定期的に清掃してください。
 - ① モータ表面のほこりは、掃除機で吸い取ってください。
 - ② ハネやガードの汚れは、中性洗剤を入れたぬるま湯に浸した柔らかい布を強く絞って拭き取り、さらに乾いた柔らかい布で洗剤が残らないように拭きとってください。
 - ③ 可動部分への注油の必要はありません。

注記 化学ぞうきんなどを使用するときは、その注意書に従ってご使用ください。

- 扇風機を長期間利用しない場合は、清潔で乾燥した場所に保管するか、または組み立てたときと逆の手順でハネ・ガードなどを取外し、梱包箱に収納してください。
 - ① 湿気の無い場所に保管してください。
 - ② 電源プラグをコンセントに差したままで保管しないでください。
 - ③ 電源コードを扇風機にきつく巻いて縛ったり、ガードの隙間に無理に押し込んだりしないでください。
電源コードが断線する恐れがあります。

こんなときは（故障かな？と思ったら）

修理依頼やお問合せの前に、もう一度お調べください。

| ご 確 認 ください | | |
|------------------|---------------------------|---|
| 症 状 | 調 べ る と ころ | 直 し 方 |
| 運転しない | 電源プラグが抜けていませんか？ | 電源プラグを根元まで確実にコンセントに差込んでください。 |
| 運転途中で止まった | タイマーを設定していませんか？ | 切タイマーです。設定時間が経過すれば運転を停止します。残時間表示灯も消灯します。 |
| 首振り運転しない | 首振りボタンを押したとき「ピッ」と音がしましたか？ | 首振りボタンを押してください。 |
| ハネは回転しているが、風が出ない | 後ガードにほこりが詰まっていますか？ | 運転を停止してプラグを抜いてください。乾いたやわらかい布で後ガードに詰まっているほこりを拭き取ってください。その後、プラグをコンセントに差込み、入／切ボタンを入れてください。 |
| リモコンで操作できない | 電池が弱っていませんか？ | 8ページ「リモコンの使い方」の項目に従い操作してください。 |
| | 扇風機本体から離れすぎていませんか？ | |
| | リモコンからシグナルが出ていない。 | |


- 上記処置をしても直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】 (本体に西暦4桁で表示してあります)

| | |
|---|---|
|  | ※【設計上の標準使用期間】6年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至る恐れがあります。 |
|---|---|

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することが出来る標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。


■標準使用条件 日本工業規格 JIS C9921-1による

| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 備考 |
|-------|------------|-------------|--------------|
| 環境条件 | 電圧 | 100V | 機器の定格電圧による |
| | 周波数 | 50Hzおよび60Hz | |
| | 温度 | 30℃ | JIS C9601参照 |
| | 湿度 | 65% | JIS Z 8703参照 |
| | 設置条件 | 標準設置 | 機器の取扱説明書による |
| 負荷条件 | | 定格負荷(風速) | 機器の取扱説明書による |
| 想定時間等 | 1日あたりの使用時間 | 8(h/日) | |
| | 1日使用回数 | 5(回/日) | |
| | 1年間の使用日数 | 110(日/年) | |
| | スイッチ操作回数 | 550(回/年) | |
| | 首振運転の割合 | 100(%) | |

●経年劣化とは、長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

MEMO

製品保証書（持込修理）

| | | | | | |
|------|------------------|---|----------------|---|-----|
| 品番 | NF-40S1MJ | 製品保証期間 | 本体 お買い上げ日より1年間 | | |
| | | ※お買い上げ日 | 西暦 | 年 | 月 日 |
| ※お客様 | 〒 | TEL | | | |
| | ご住所 | | | | |
| | お名前 | 様 | | | |
| ※販売店 | 所在地 〒 | | | | |
| | 店名 |  | | | |
| | TEL | | | | |

※印欄にご記入なき場合は無効となります。必ずご記入、ご確認ください。

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ただし、消耗品や定期交換部品は保証の対象から除きます。製品品番や販売店名等の必要事項が記載されていないものは無効です。

無料修理規定

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合は、本書をご提示の上、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。無料修理いたします。 2. 次のような場合は、保証期間内でも有料修理となります。 <ul style="list-style-type: none"> (A) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。 (B) お買い上げ後の落下等および輸送上の故障および損傷。 (C) 火災、地震、風水害、落雷、塩害、ガス害、その他の天災地変や異常電圧などによる故障および損傷。 (D) 一般的な用途以外に使用された場合の故障および損傷。 (E) 本書のご提示がない場合。 (F) 本書に、お客様名、買上年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書きかえられた場合。 | <ol style="list-style-type: none"> 3. ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。 4. ご贈答などで本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合には取扱説明書に記載されているお客様相談室にお問い合わせください。 5. 出張修理をご依頼の場合は出張に要する実費を申し受けます。 6. 本書は日本国内においてのみ有効です。 7. 本書は再発行いたしませんので大切に保存してください。 <p>☆この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げ販売店または取扱説明書に記載されているお客様相談室にお問い合わせください。</p> |
|---|---|

⚠ 注 意



- 当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
- * 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
 - * 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
 - * 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店にお申し付けください。なお、扇風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。